

クレジット:

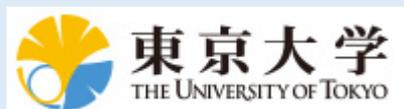
Mathematics and Informatics Center 文科系のための線形代数・解析Ⅱ
2020 藤堂 眞治・松尾 泰・藤原 毅夫

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



ラグランジュ (Lagrange) 未定乗数法

束縛条件 $g(x, y) = 0$ のもとで, $f(x, y)$ が最大値となる点 (a, b) を求める問題を考えてみよう.

そのためには, 新たな変数 λ (ラグランジュ乗数) を導入して,

$$F(x, y, \lambda) = f(x, y) - \lambda g(x, y)$$

を考える.

点 (a, b) で $\partial g/\partial x \neq 0$, $\partial g/\partial y \neq 0$ ならば,

$$\frac{\partial F}{\partial x} = \frac{\partial F}{\partial y} = \frac{\partial F}{\partial \lambda} = 0$$

により λ および最大値を与える点 (a, b) が決まる.

第 1 の条件 $\frac{\partial F}{\partial x} = \frac{\partial F}{\partial y} = 0$ は, f と g の勾配ベクトルが並行であるという条件である.

問題

$$f(x, y) = (x + y)^2$$

$$g(x, y) = x^2 + y^2 - 1$$

として, 束縛条件 $g(x, y) = 0$ のもとで $f(x, y)$ の最大値を求めよ.

解

Step 1

まず最初に $f(x, y)$ の様子および束縛条件 $g(x, y) = 0$ がどのようなものか見なさい.

```
syms x y lambda f(x,y) g(x,y)
% maximize
f(x,y) = (x+y)^2;
% subject to
g(x,y) = x^2 + y^2 - 1;
%
fc=fcontour(f,[-1.1 1.1 -1.1 1.1]);grid on
fc.LevelList = [5 4 3 2 1 0.5 0.0001];
fc.LineWidth=2
```

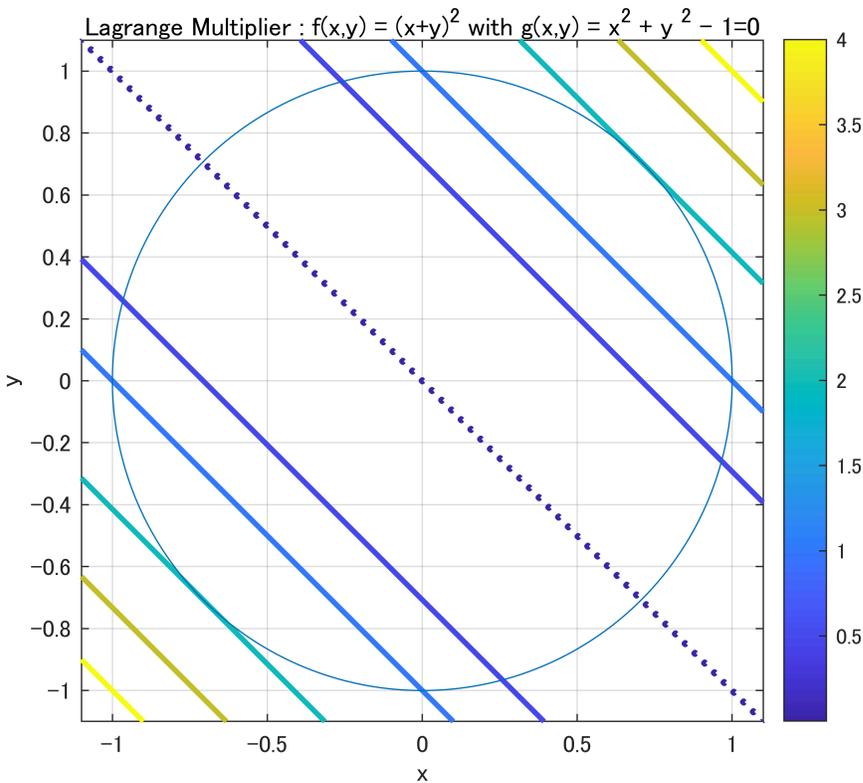
```
fc =
FunctionContour のプロパティ:
```

```
Function: [1x1 symfun]
XRange: [-1.1000 1.1000]
YRange: [-1.1000 1.1000]
LineColor: 'flat'
LineStyle: '-'
LineWidth: 2
Fill: off
```

LevelList: [5 4 3 2 1 0.5000 1.0000e-04]

すべてのプロパティを表示

```
hold on
fimplicit(g)
colorbar
daspect([1 1 1])
xlabel('x')
ylabel('y')
title('Lagrange Multiplier : f(x,y) = (x+y)^2 with g(x,y) = x^2 + y^2 - 1=0')
```



これでどのあたりにどんな解があるか大体見当がつく.

$fc = \dots$, $fc \dots =$ では等高線の値や幅をコントロールしている.

$f(x,y)$ の等高線 (直線) と束縛条件 $g(x,y) = 0$ (半径1の円) が並行で接している処が解 (最大値) である.

Step 2

次に問題を定式化する.

```
syms L
L(x,y,lambda) = f - lambda*g;
eqn1 = diff(L,x) == 0;
eqn2 = diff(L,y) == 0;
eqn3 = diff(L,lambda) == 0;
```

これで最適化する関数 L と条件が定義された.

`diff` は微分. それぞれ何で (偏) 微分するかもわかる.

Step 3

上の3つの条件を用いて, 手でこれらを解くことも難しくはない (問題1).

```
ss = solve([eqn1,eqn2,eqn3],[x,y,lambda]);
```

これにより問題の解が求められたはず.

```
ss.x
```

```
ans =
```

$$\begin{pmatrix} \frac{\sqrt{2}}{2} \\ -\frac{\sqrt{2}}{2} \\ -\frac{\sqrt{2}}{2} \\ \frac{\sqrt{2}}{2} \end{pmatrix}$$

```
ss.y
```

```
ans =
```

$$\begin{pmatrix} -\frac{\sqrt{2}}{2} \\ \frac{\sqrt{2}}{2} \\ -\frac{\sqrt{2}}{2} \\ \frac{\sqrt{2}}{2} \end{pmatrix}$$

```
ss.lambda
```

```
ans =
```

$$\begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 2 \\ 2 \end{pmatrix}$$

これらが解であるが, どう `ss` に納められているかは上から想像がつくであろう.

```
f(ss.x,ss.y)
```

ans =

$$\begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 2 \\ 2 \end{pmatrix}$$

関数 $f(x,y)$ の値は直接計算する.

```
T = table(double(ss.x),double(ss.y),double(ss.lambda),double(f(ss.x,ss.y)));  
T.Properties.VariableUnits = {'x','y','lambda','f'}
```

T = 4x4 table

	Var1	Var2	Var3	Var4
1	0.7071	-0.7071	0	0
2	-0.7071	0.7071	0	0
3	-0.7071	-0.7071	2	2
4	0.7071	0.7071	2	2

4つの最適解（最大値または最小値）があり，それらはこの表を横に $x, y, \text{lambda}, f(x,y)$ と並ぶ.

後ろの2つが $f(x,y)$ の最大値，前の2つが $f(x,y)$ の最小値に対応する.

問題1

先の問題をプログラムを用いずに手計算で解け.

問題2

$$f(x,y) = xy$$

$$g(x,y) = x^2 + y^2 - 1$$

として，束縛条件 $g(x,y) = 0$ のもとで $f(x,y)$ の最大値を求めよ.

```
syms x y lambda f(x,y) g(x,y)  
% maximize  
f(x,y) = x.*y;  
% subject to  
g(x,y) = x^2 + y^2 - 1;  
%  
fc=fcontour(f,[-1.1 1.1 -1.1 1.1]);grid on  
fc.LevelList = [5 4 3 2 1 0.5 0.3 0.2 0.1 0 -0.1 -0.2 -0.3 -0.5 -1 -2];  
fc.LineWidth=2
```

fc =

FunctionContour のプロパティ:

Function: [1x1 symfun]
XRange: [-1.1000 1.1000]

```

YRange: [-1.1000 1.1000]
LineColor: 'flat'
LineStyle: '-'
LineWidth: 2
Fill: off
LevelList: [5 4 3 2 1 0.5000 0.3000 0.2000 0.1000 0 -0.1000 -0.2000 -0.3000 -0.5000 -1 -2]

```

すべてのプロパティ を表示

```

hold on
fimplicit(g)
colorbar
daspect([1 1 1])
xlabel('x')
ylabel('y')
title('Lagrange Multiplier : f(x,y) = xy with g(x,y) = x^2 + y^2 - 1=0')

```

